

支援車（IV型）購入
仕様書

令和2年度

伊賀市消防本部

第1 総 則

- 1 この仕様書は、伊賀市消防本部（以下「発注者」）が購入する支援車（IV型）（以下「車両」という。）の艤装、性能等について必要な事項を定めるものとする。
- 2 本車両は、この仕様書に定めるもののほか、「国が行う補助の対象となる緊急消防援助隊の施設の基準額」（平成16年3月30日総務省告示第281号）、「緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱」（平成18年4月1日消防消第49号）、「道路運送車両法」（昭和26年法律第185号）、「道路運送車両の保安基準」（昭和26年運輸省令第67号）及び「動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令」（昭和61年自治省令第24号）に適合し、緊急自動車としての承認が得られること。
- 3 車体は、常時登録された車両総重量の状態において堅牢で十分耐え得るものであること。
- 4 艤装材料は、すべて精選された品質により、強度及び耐久性を有する製品を使用すること。
- 5 受注者は契約締結後、速やかに発注者と打ち合わせを行い、製作の準備に取り掛かること。
- 6 検査は、中間検査及び完成検査とし、中間検査は受注者立会いのもと製作現場で実施するものとする。
- 7 検査における指示事項は、発注者の指示する日までに修復又は部品の取替え等を行うこと。
- 8 完成車は、新規検査登録後、各部の清掃手入れ、注油脂、点検及び調整等を十分行ったうえ、納入すること。
- 9 完成車の納入場所は、伊賀市消防本部とする。
- 10 受注者は車両納入後、本部において当該車両の構造及び取扱い説明を行うこと。
- 11 受注者は、完成車納入までの諸手続きをすべて代行するものとし、これに要する諸経費は受注者の負担とする。ただし、自動車賠償責任保険料、自動車重量税、自動車リサイクル料については、事務手続きは受注者が行い、その費用は発注者が負担する。
- 12 車両、装備品及び付属品等は、すべて新規製品であること。
- 13 完成車の保証期間は納入後1年間とする。ただし、各メーカーの公表する保証期間が1か年を超えるものについてはその期間とする。また、設計不良、製作工程、あるいは車両本体の欠陥による瑕疵が認められた場合、保証期間の有無に係わらず、使用期間に渡り保証すること。
- 14 製作会社標準仕様のもので、本仕様書に明記されていない点は、製作会社公表の標準仕様とする。
- 15 移動式指揮盤及びスマートフォンは同等品可とする。ただし、発注者へ資料を提出のうえ承認を得ること。
- 16 納期は、令和3年3月31日とする。
ただし、当市の市議会で繰越明許費の議決を得られた場合は、令和3年10月2

9日とする。

第2 提出書面

1 承認図書

次の書類をA4版ファイルに製本のうえ、契約締結後30日を目処に提出し、発注者の承認を得ること。

(ア) 製作工程表

(イ) 承認図

- ① シャシー諸元明細書
- ② 車体艤装図
- ③ 資器材収納ボックス等の製作図及び取付図
- ④ 電気配線図（シャシー関係、艤装関係）
- ⑤ その他、発注者が指示するもの

2 完成図書

製作終了後、次の図書をA4版ファイルに製本し、納入時に提出すること。

(1) 改造自動車審査申請関係書類（陸運支局へ提出する書類）

(ア) 改造自動車等届出書

(イ) 改造自動車計算書

(ウ) 外観5面図

(2) 取扱い説明書

(3) 発注者が指示する設計図面（承認図から変更のあった部分については変更後の設計図）

(4) 内訳明細書

(5) 納品書

第3 シャシー

使用する車台は、下記の条件を満たすこと。

1	定員	乗車5名以上とする。
2	車両総重量	5トン未満
3	最大積載量	3トン未満
4	排気量及び使用燃料	2,700cc以上ガソリンエンジン
5	変速装置	6速オートマチックトランスミッション
6	安全装置	ABS装置、助手席SRSエアバック付
7	車両全幅	1,900mm以下
8	車両全長	5,400mm以下
9	最大荷室長	3,500mm以上（メーカー発表値）
10	駆動方法	4WD
11	形状	スーパーロング・ワイドボディ・ハイルーフ
12	オルタネータ	130A以上

第4 車体艤装

1 一般的事項

- (1) 車両に使用する材料及び部品等は、特に指定するものを除き、日本産業規格（以下「J I S」という。）及び国際標準規格（以下「I S O」という。）に適合するものを使用すること。
- (2) 全般にわたり防水性に考慮すること。
- (3) 電装品等は、無線機の交信に支障（無線障害、雑音等）を来たさないものを選択すること。また、配線には容量に十分余裕のあるケーブルを使用して内装等に納め、不必要に露出することなく敷設すること。なお、すべてのケーブル類はコルゲートチューブ等保護措置を用いて敷設すること。
- (4) 車両の前後左右の荷重配分には十分配慮すること。
- (5) バンパーはボディと同色とし、消防色に塗装できる車種設定にすること。
- (6) 本車両に使用する移動式指揮盤は、第5の項の移動式指揮盤の仕様に基づいた製品を備えること。
- (7) 本車両は、安全サポートシステムレスとすること。

2 車両装備品関係

(1) 冷房装置及び暖房装置

- (ア) 冷房及び暖房装置は、運転席、後部席が個別に冷・暖房できること。
- (イ) 車内の冷・暖房効果が十分得られるよう吹き出し口の形状等、艤装にあたり配慮すること。

(2) ヘッドライト及びフォグランプ

ヘッドライトは、車両メーカー純正LEDとする。また、前部バンパー内に、純正フォグランプを取り付けること。

(3) 後退警報ブザー

- (ア) 後進ギア用音響警報器（1音調信号）を1式取付けること。
- (イ) 運転席付近へON/OFFスイッチを設けること。切断は、音声合成メッセージの切断スイッチと連動でも可とする。

(4) ドライブレコーダー

国内メーカー製最新型のものとし、前方・後方画像がSDカードに記録できるとともに、パソコンで画像再生が可能なものであること。

(5) GPSカーナビゲーションシステム（別図1参照）

インストメントパネル中央部にSD対応型GPSカーナビゲーションシステム（AM/FMラジオ、CD付）を取付けること。また、昼間時の緊急走行において、画面が暗くならないよう措置を施すこと。

(6) 後退監視システム

車両後端にバックアイカメラを取付け、変速機を後退に入れた際、カーナビゲ

ーションシステムのモニターに後方の状況を投影して視界を得ること。

(7) 時計

後部座席から視認しやすい位置に、12Vデジタル大型電波時計（夜間バックアップライト式：W200mm×H80mm程度）を取付けること。

(8) ウィンドー・サイドバイザー関係

(ア) 運転室以外のガラス部は、フィルム等でプライバシーガラス化を施すこと。
なお、車両標準で設定がある場合は標準装備品にて可とする。

(イ) 運転席及び助手席窓はパワーウィンドーとし、サイドバイザーを取付けること。

(9) マッドガード

各ホイールハウスにはマッドガードを取付けること。

(10) 盗難防止装置

隊員不在時における車両盗難を防ぐため、任意に走行不能とする措置を設けること。

3 電装品関係

(1) バッテリー

緊急自動車関係、及び全ての電装品等を同時に使用しても十分な容量を確保すること。

(2) ヒューズ

艀装部分の電気回路上に使用するヒューズは、ノンヒューズ型サーキットプロテクター式とし、回路が遮断された際は、個別にそれが確認できる構造であること。また、各回路の名称、アンペア数を明記すること。

(3) ヒューズボックス

標準設計のほかに艀装部分の電気回路上にブレードヒューズ等を増設する場合は、整備性を考慮した位置に設けるとともに、デッドスペースを有効活用すること。

(4) 電源装置

車内AC100V用電源として、正弦波インバーター（定格700W程度）を保守点検が容易な位置に取り付けること。

(5) 電源コンセント

コンセントは車内の使用しやすい場所へ3箇所以上、うち1箇所は6連タップとし、USBポートを2口備えること。また、屋外用コンセントを車両後部バンパーに防水カバー付きで1箇所設けること。（口数等詳細は別途協議）

(6) 外部入力コンセント

(ア) 車両後端に、AC100V商用電源を車内へ引き込む外部電源入力コンセントを防水カバー付きで設け、電源プラグを接続した際に、AC100V商用電源が車内で使用できるようにすること。なお、このコンセント接続時の100V電源

はインバーターを介さない回路とし、スイッチを設けることなく自動で切り替わること。

(イ) 車内に全自動充電器を設置し、この外部入力コンセントを通じて車両バッテリーへ充電できるよう回路を設計すること。

(ウ) コンセントに差し込むプラグは小型形状ロケット式とし、コンセントカバーは自動的に閉塞する構造のもので、かつ、コンセント内部に雨水が浸入しないようパッキン付の構造とする。

4 緊急自動車装備品関係

(1) 赤色警光灯等

(ア) ルーフ前側へ、LED赤色警光灯1式を取付けること。

(イ) 側面にLED赤色警光灯を左右に各2個取付けること。

(ウ) 前部グリル内、若しくはバンパーにLED赤色警光灯2個を取付けること。位置等については別途協議する。

(エ) 後部バックドア上部にLED赤色警光灯とLED照明灯の一体型灯を2個取付けること。

(オ) 後部ハッチドアが開放状態でも、後方から視認できる構造のLED赤色警光灯2個をドア枠に取付けること。

(カ) 上記の赤色警光灯は、本項(2)電子サイレンアンプと本項(3)モーターサイレンを吹鳴すると同時にすべてが点滅すること。

(キ) 詳細については、別途指示する。

(2) 電子サイレンアンプ (別図1参照)

電子サイレンアンプ(出力50W以上)をインストメントルパネル上部に樹脂製一体型オーバーコンソールを設けて取付けるもの。機能として自動・連続吹鳴サイレン、電子警鐘音、音声合成メッセージ装置及び拡声装置付とする。メッセージ内容等詳細については受注者と別途協議の上、発注者が指示する。

(3) モーターサイレン

サイレンの吹鳴はリレーを設け、連続と断続が切り替えで吹鳴できること。

(4) 集中操作スイッチ (別図1参照)

電子サイレンアンプの音声合成装置と連動して機能するスイッチをカーナビゲーションシステム左側に取り付け、照明灯操作・広報メッセージとともに組み込むこと。詳細については受注者と別途協議の上、発注者が指示する。

※スイッチ(案)

火災出動	左照明灯	後部照明灯	右照明灯	後退警報器
情報提供	関係者呼出	群衆整理	消火栓使用	鎮火

5 灯火関係

(1) 路肩灯

後輪タイヤハウス付近にLED路肩灯を取付け、点灯はスモールランプと連動させること。

(2) 照明灯

車両の両側面・後部の上部に車両周囲を照射できるLED照明灯を設け、運転席付近に設置する集中スイッチで個別に点灯できる構造とする。

6 室内設備

(1) 座席

乗車定員は5名とし、運転席、助手席のほか、2列目シートは車両標準品を取り外し、新たに3人が安全に乗車できるシートを設置するものとし、次のよう定める。

(ア) 2列目シートは、リクライニング可能な3点式シートベルト付2人掛け席(ヘッドレスト一体型)と、後方の多目的スペースにある荷物が容易に取出せるよう跳ね上げ式折り畳み単座席による構成とし、2人用シートはレールにより前後にスライドし、位置が調整できること。また、多目的スペースの荷物の積み込みによっては、より多くの荷物が積載できるよう前方にも倒れ込む構造を有すること。

(イ) 助手席は1人用に改造の上、運転席との間にA3ファイル・無線機等が設置できるコンソールボックスを取付けること。

(ウ) 座席表面は、ビニールレザー貼りとし、滑りにくい材質とすること。

(2) 手動式無線アンテナ昇降装置

消防デジタル無線の不感地帯における受信感度を上げるため、車内から上昇可能なアンテナ一体型の昇降ポールを取付け、配線をポール内に施すこと。なお、アンテナは車上から1m以上上昇でき、収納時は昇降ポールを車体底面に固定できることとし、運転席付近に未収納の警告灯を設けること。

(3) バックドア

容易に開閉ができるようドア内側にストラップ等を取付けること。

(4) 指揮盤収納庫

移動式指揮盤を収納できる構造とし、構造の詳細は次のとおりとすること。

(ア) 出し入れ操作の際に、移動式指揮盤のアンダーキャリーの機能を損なわないよう、現物合わせにより制作をすること。

(イ) 収納時の固定は、現物合わせにより不具合のないよう制作をすること。

(ウ) 後部扉からロールイン式ワンタッチ式で取出す事ができる開口部を持つこと。

(エ) 指揮盤収納部の天板は、上部の資機材収納部分の床として使用できるよう、十分な強度を持った骨格構造とすること。

(オ) 指揮盤収納部の床には、指揮盤が容易に格納できるガイドレールを設けること。

(カ) 指揮盤収納部の間口左右に誘導用ガイドローラーを設けること。なお、この

ガイドローラーは視認性に鑑み、オレンジ色とする。

(キ) 指揮盤は安全、かつ確実に固定できるよう固定をファスナー方式とし、ロックはワンタッチ式とすること。

(ク) 指揮盤収納時に、指揮盤の脚部等構成品が接触して車体に損傷を及ぼす恐れがある場合は、車体側にステンレス板を貼り保護すること。

(ケ) 詳細については、別途指示する。

(5) フロア全般

人が乗り降りする箇所の床部分は、雨天時の消防活動等で室内が濡れても滑りにくい形状及び材質（ロンリウム等）とし、水洗いや清掃等に十分耐え得る防水性を保つこと。なお、壁面との接合部及び床との直接固定する物との間は防水コーキング処理を施すこと。

(6) 室内照明

(ア) 作戦・通信卓上面が有効に照射できるLED室内灯を設けること。スイッチは手元付近に設置すること。

(イ) 後部収納庫内が十分に明るくなるLED庫内灯を適宜設置すること。なお、ON/OFF、ドア連動の切り替えスイッチを設けること。

(ウ) 後部ハッチドア内側へ、収納庫を照らすLED作業灯を設置すること。点灯、消灯にドア連動とOFFモードの切り替えスイッチを設けること。

(7) 資器材収納庫（別図2参照）

(ア) 付属品及び積載する資器材を有効かつ適切に収納でき、後部ドア側及び車内の前方側から容易に取出せる構造で、スペースを最大限活用できるよう指揮盤収納庫からH1,000 mm×W1,400 mmの木製の収納棚を設け、外面を化粧張りとする。なお、後部ハッチドアの開口部の形状に合わせ棚の上部を絞り込んで作成すること。また、走行中の振動等により収容物品が飛び出さないよう措置を講じ、鋭角な箇所は傷害防止のための保護処置を施すこと。さらに収納棚の内面に緩衝材等が必要な場合は取付けること。

(イ) 床は2重構造でロンリウム貼りとし、積載品の留め置きができる構造とする。

(ウ) 棚、引き出し等の詳細については、発注者と十分協議のうえ製作すること。なお、発動発電機とコードリールの収納にあっては引き出しスライド式で容易に取出しが可能な構造とし、油脂分等による腐食を防止するためステンレス製とすること。その他の資器材積載スペースについても、発注者が積載する資器材に合わせ製作すること。棚の区画、配置についての詳細は別途協議とする。

(エ) 収納庫車両前方側は、多目的収納スペースとして活用できるよう床面スペースを確保した寸法にするとともに、棚の一部を壁面構造とし、H1,000 mm×W600 mmの収納庫上端に防火衣3着が掛けられるハンガーパイプを設け、床面はアルミ板とすること。

(8) 多目的収納スペース

後部座席後方は、多目的に物品が積載できるよう床スペースを確保し、

積載品が移動しないよう固定できる措置を施すこととし、D環等の固定支点を適宜設置すること。

(9) ステップ及び手すり

車内には乗降に必要とされるステップ、手すりを設置すること。なお、車体標準で設けられている場合は標準にて可とする。

(10) 作戦・通信卓

2列目後部座席前には、450mm×1,400mm程度の机を設置し、ノートパソコン及びA3用紙が収納できる大きさの引き出しを容易に飛び出さない構造で2個設けること。なお、下段にプリンター、A4レターケース等を収納できる棚を設けること。

また、作戦・通信卓前方の一部を立ち上げ、運転席側から保安帽をかけるフックを2箇所設けること。

(11) 地図入れ

A3サイズの住宅地図が3冊以上入る地図入れを設け、飛び出し防止措置を講ずること。

(12) 壁面収納

車内のハイルーフ壁面等の指定位置に、ネット式小物収納スペースを設置すること。

7 無線機関係

無線機本体一式は保有する現有品を載せ換えるものとし、次の工作を施すこと。なお、アンテナ、ケーブル等は新規の製品を取付けること。

(1) 無線機

(ア) 屋根上に無線用アンテナ2本を取付け、ケーブルを敷設すること。1本は手動式無線アンテナ昇降装置に取付けること。また、車体ルーフ構造がFRP製の場合は、鉄板を用いて電波障害対策を十分に講ずること。

(イ) アンテナは、破損時に取外し交換できるよう点検口を設けること。

(ウ) 屋根部分の開孔部は完全な防水措置をすること。

(エ) スピーカーは、運転室中央ルームミラー上方とセカンドシート右上部付近に各1個を埋め込み式にて設置、後部室（車外向き切スイッチ付）と移動式指揮盤に各1個を設置すること。

(オ) 無線機本体は助手席若しくは作戦・通信卓周辺、送話機は助手席、作戦・通信卓、移動式指揮盤に取付けること。なお、移動式指揮盤へケーブルを延長する車外無線送話機取出口を設けること。

(2) 電源関係

電源はターミナルを設け、バッテリー直接とACC連動の2系統用意すること。

(3) アース

必要箇所にボンディングアースを施すこと。

(4) 可搬型無線機が、移動指揮盤に設けた送話機、スピーカーで通話できること。

8 その他

(1) 消防章

車両前部中央に、φ150の消防章を丸型台座を用いて取付けること。

(2) 補助サイドミラー

助手席から後方確認ができる可動式の補助サイドミラーを、運転に支障のない位置に取付けること。

(3) 保護用当て板等

(ア) 人の乗降、積載物品の出し入れの際に、車内の内張り材や塗装面などに傷つくおそれのある箇所にはアルミ保護板等による傷害防止処置をすること。

(イ) 器具の固定装置取付け部は、走行中の振動に耐えられる強度を有すること。

(4) プレート等（銘板）

各操作ボタン、スイッチ類には、名称等を明示したプレート等を分かりやすく表示すること。

9 塗装、メッキ、車体標識等

(1) 塗装及びメッキ

(ア) 車体外面（前後バンパーを含む）は消防専用色ウレタン塗装とする。

(イ) 内装色はメーカー標準色とする。

(ウ) 塗装及びメッキ部分（フロントグリル・バックドアガーニッシュ）は、純正品とすること。

(エ) 納入後1年以内に塗装部分、メッキ部分等に発注者の責と認められない原因により、変色、亀裂、はがれ、浮き上がりが生じたときは、再塗装、再メッキ処理を行うこと。

(2) 車体標識

所属、属性、対空標示等は、字体は丸ゴシックとし、色は白色とし詳細は次の通りとする。

(ア) 所属表示として、車体両側面に「伊賀市消防本部」後部に「IGA CITY FIRE DEPT.」と左横書きにて標示すること。

(イ) 対空標示は、屋根上中央に可能な限りの大きさと「伊賀 51」と標示すること。

(ウ) 属性表示「指揮隊」を車体両側面の上部に左横書きにて標示すること。

(エ) その他の表示は別途指示する。

(オ) 標示文字等はフィルム材を使用し、耐久性のある反射材料を用いること。

(カ) 各ドア等開放部には、注意喚起を促すため反射テープを貼付すること。

(キ) 車体電源喪失時に自車の視認性が確保できるよう、再帰性に富んだ反射材を車体両側面、後部に貼付すること。

第5 移動式指揮盤の仕様

移動式指揮盤は、道路の継ぎ目や歩道スロープの段差など移動時の障害等で安易に破損することのないよう堅牢な作りであるとともに、次の構造を有するものとする。

- 1 アンダーキャリーはファerno社製とし、ロック機能キャスター付ワンタッチ式折畳み脚を備え、当該車両の後部扉から容易に取出す事ができること。
- 2 現場指揮本部にて通話が可能なよう指揮盤に送話機とスピーカーを取付け、設置したケーブルを車内の取出口に接続することで、車載無線機が車両から30mの範囲で使用できること。なお、引出しが閉じた状態で送話機が使用できること。また、30mケーブルは夜間における視認性向上の対策を施すこと。(ケーブルの収納方法は別途協議する。)
- 3 第5-2の無線システムは、可搬型無線機に切替えが可能な構造とする。
- 4 指揮盤の表面板はホワイトボードとし、磁着すること。また、表面に透明ディスクマットを取り替え可能なよう貼り付けること。
- 5 文具等が収納できる引出しを4か所以上設けること。なお、引き出しのロックは指揮盤を車両から取出す際、あるいは格納時に構造物と接触しても破損しない形状のものとする。
- 6 指揮盤の大きさは、盤面が1,800mm×800mm以上とすること。
- 7 アルミ等軽量素材で製作し、重量の軽減化を図るとともに、全体の重量配分も考慮すること。
- 8 車両側ファスナーにて確実に固定できること。
- 9 可搬型無線機を取り付けられる仕様とし、可搬型無線機、発動発電機が指揮盤の下部に搭載可能なこと。
- 10 外部から電源供給が受けられるようプラグ付3mケーブルを取付け、AC100Vコンセント2口、ならびにDC12Vシガライター型コンセントを設けること。
- 11 AC100V/DC12Vコンバーターを取付けること。

第6 取付品・付属品、積載する資器材

取付品・付属品は別紙1、積載する資器材(支給品)は別紙2の通りとする。

第7 検査

受注者は、次の検査に合格しなければならない。

なお、当検査において不備と認められた箇所、部品等については無償で交換、改修又は修理を行うものとする。

1 中間検査

製作工程表に基づき、発注者が必要と認めた場合、受注者の製作工場にて担当者立会いのもと、次の検査を受けること。

- (ア) 製作工程表に基づく進行状況検査
- (イ) 装備品及び付属物品の装着、架装検査
- (ウ) 車体の外観（塗装）検査
- (エ) その他、発注者が必要と認める検査

2 完成検査

車両納車時に次の検査を受けること。

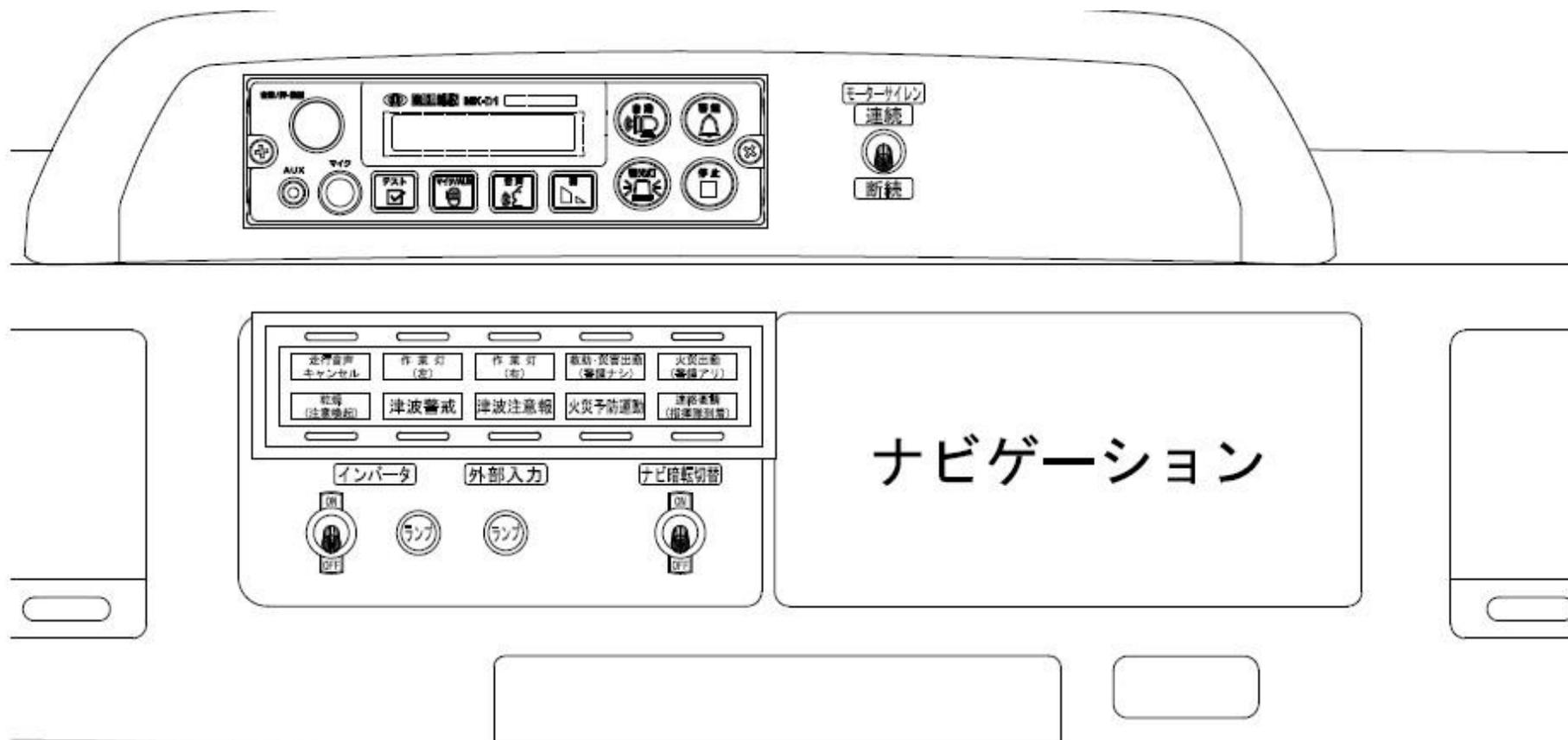
- (ア) 車体の外観、仕上げ（指定文字等）検査
- (イ) 装備品及び付属物品の装着、架装検査
- (ウ) 各種装置等の機能検査
- (エ) 中間検査時の指示事項に基づく検査
- (オ) その他、発注者が必要と認める検査

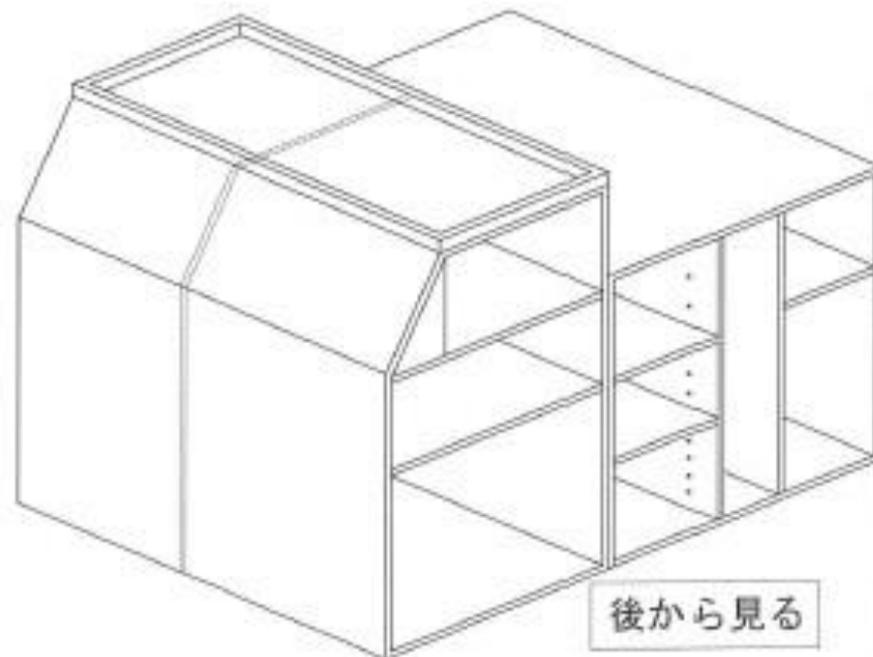
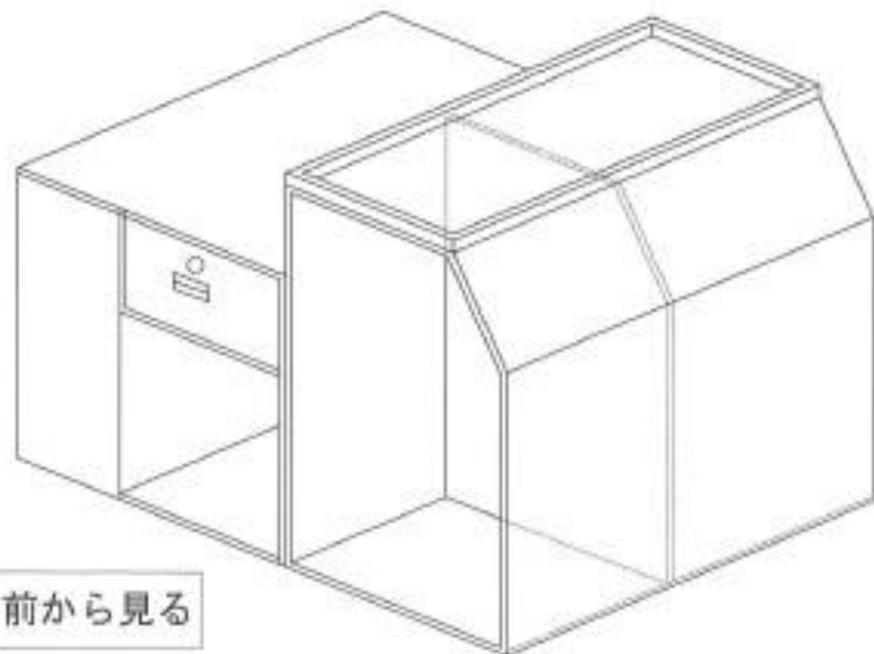
第8 その他

- 1 本仕様書に明記されていない事項についても、受注者の公表した仕様及び機能、工作上当然と思われることは施行すること。また、本仕様書に疑義、あるいは不明な事項が生じた場合は、発注者の指示に従うこと。
- 2 その他必要に応じて協議し、発注者より指示する。

No.	品名	内容	個数
1	散光式赤色警光灯	大阪サイレン NF-ML-XKDM-LA	1
2	LED警光灯 (フロント)	大阪サイレン LFA-50	2
3	LED警光灯 (左右各2)	大阪サイレン LFA-200C	4
4	LED警光灯・照明灯 (リア)	大阪サイレン LFIA-300	2
5	LED警光灯 (後部ハッチドア枠)	ウィレン VTXFBR	2
6	LED照明灯 (左右各2)	大阪サイレン LIA-200	4
7	LEDライト (後部ハッチドア内)	大阪サイレン LIA-W1	2
8	電子サイレンアンプ (通信)	大阪サイレン MK-D1	1
9	集中操作スイッチ (一部通信)	大阪サイレン SBW-D1-SRC (5メッセージオプション含)	1
10	移動式指揮盤	HS-08型 (同等品可)	1式
11	消防章	メッキ	1
12	車輪止め	ゴム製、取手、ロープ付 (2個1組)	1
13	ドライブレコーダー	前方・後方撮影	1
14	GPSナビゲーションシステム	SD対応型 AM/FMラジオ CD付	1式
15	バックアイカメラ		1式
16	スタッドレスタイヤ	ホイール付	4
17	現場指揮ベスト	FS JAPAN アラミドベストBS3 消防本部名入	4
18	コードリール	ハタヤ BF-301K	1
19	簡単テント	KA/4WA (4方幕、出入口加工、ウエイト付、消防本部名入)	1式
20	大型デジタル電波時計	艙装に含む	1
21	長尺用搬送台車	スーパーメイト ランバーカート LC-6001	1
22	ホワイトボード	700mm×700mm(吸盤にてボディに取付)	2
23	スマートフォン	防塵・防水スマートフォン 付属：ケース、首掛けストラップ、液晶フィルム、ACアダプタ、microSD64GB 参考：arrows Be4 F-41A(Black) (同等品可) (NTTドコモとの契約は受注者が行う。)	各1
24	ノート型パソコン 14インチ液晶	OS:Windows10 home プロセッサ：インテルCorei5以上 メモリー：8GB以上 ストレージ：SSD 256GB以上 Microsoft Office Home&Business (インストールVer.) 以上 付属：マウス、マウスパッド (伊賀市内の業者から調達すること。)	1
25	プリンター	A4対応複合型 (コピー、スキャン、プリント) 給紙前面1段カセット、 付属：パソコン接続ケーブル、インクカートリッジ2式 (伊賀市内の業者から調達すること。)	1

積載する資器材（支給品）		個数
LED投光器 ノマド360	直径117mm 長さ1,013mm	1
発動発電機 ホンダ EX-6		1
現場指揮机 NGD119	幅90mm×900mm 高さ650mm	1
報道用情報板	幅600mm×15mm 高さ900mm	1
可搬式移動局無線装置	幅210mm×幅330mm 高さ490mm	1
アンテナ類バッグ	直径140mm 長さ140mm	1
ワイヤレスメガホン（スタンド含む）		1式
クーラーボックス	幅380mm×760mm 高さ390mm	1
収納ボックス	幅400mm×600mm 高さ350mm程度	2
強化液消火器3型		2
プライバシーシート	直径750mm	3





支援車(IV型)の購入 設計書

	数量	単位	単価	金額(円)
シヤシ	1	台		
艀装費	1	式		
無線機取付け	1	式		
取付品・付属品	1	式		
パソコン	1	台		
スマートフォン	1	台		
小 計				
(消費税)				
合 計				